

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	第4回 嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会	
開催日時	令和5年6月30日(金) 14:00~16:00	
開催場所	嬉野市役所(塩田庁舎) 3-2会議室	
会議の公開可否	(可)・不可・一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委 員	渡利委員、坂口委員、森(四朗)委員、森(聡子)委員、久野委員、尾形委員、宮崎委員、田中(昌弘)委員、前田委員、川原委員、中村委員、田中(均)委員
	事務局	企画政策課長(松本)、同企画政策G主任(池田)、総務・防災課主任(辻)
	その他	東亜建設技術株式会社(5名)、堤准教授
会議の議題	第4回嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・嬉野市塩田庁舎等利活用基本構想策定に係るアンケート調査結果 ・塩田庁舎等利活用市民ワークショップの概要 ・塩田庁舎等利活用市民ワークショップ実施(概略案) ・塩田庁舎等利活用中学生アンケート案 ・塩田庁舎窓口機能 	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会（第4回）		
内 容	アンケート調査の分析結果、市民ワークショップの概要、中学生アンケートの概要説明		
審議経過	事務局	<p>皆さま、あらためましてこんにちは。ただ今から、令和5年度第1回目になりますが、第4回嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会を開催いたします。</p> <p>本日は、田島委員、永田委員、諸岡委員から他の用務のため、欠席との連絡を受けております。</p> <p>次第2、委員長挨拶 渡利委員長よりお願いいたします。</p>	
	委員長	<p>皆さん、こんにちは。本日は大変天候の悪い中、ご参加ありがとうございます。本日は4回目となりますが、アンケートの内容とか、以前ご協議いただいた内容の結果とか、7月に向けてのワークショップのご提案とか、盛りだくさんではございますが、最後まで皆さんの積極的なご意見を賜りたく思っておりますのでよろしくお願いいたします。では事務局お願いします。</p>	
	事務局	<p>それでは、次第3、協議事項になります。以後委員長お願いします。</p>	
	委員長	<p>はじめに、アンケート調査の分析結果について、事務局の説明をお願いいたします。</p>	
	事務局	<p>（アンケート調査の分析結果についての報告） 資料（嬉野市塩田庁舎等利活用基本構想策定に係るアンケート調査結果）を見ながら説明</p>	
	委員長	<p>ありがとうございました。それではこのアンケートについての資料のご説明について、ご意見ご質問等あれば挙手の方をお願いいたします。</p>	
	委員	<p>回答数が上の方に書いてあるが、937 というのは 3,289 件を発送して、その内 937 件が戻ってきたということと思うが、その中に世帯主の他、複数の回答があったと思うが、全体の回答数としてはどのくらいあったのか。</p>	
	事務局	<p>人数ということよろしいですか。</p>	
	委員	<p>はい。</p>	
	事務局	<p>人数といいますか、設問によって、書かれたり書かれていなかったりすることがございまして、例えば 2 頁の庁舎の利用状況であれば、男女別の利用状況に票数が書かれております。男性であれば 845、女性であれば 932 ということで、これらの合計が概ねの回答者となります。</p>	
	委員	<p>無回答まで合わせれば 1,909 になる。</p>	
	事務局	<p>そうですね。</p>	
	委員	<p>項目によっては次の頁が 1,856 と差はあるけれど、全体的に回答数としては</p>	

	どのくらいあったのかなというのが知りたかった。大体 1,900 くらいあったということではいいか。
事務局	概ねです。
委員長	私の方からひとつお聞きしてよろしいでしょうか。この5地区の高齢化率というのはどれくらいになりますか。回答者が50歳から80歳くらいでかなりの人数を占めている、逆に20歳30歳代が足しても20%行かない感じですが、この地区の高齢化率というのは30から40%というくらいですか。
事務局	調べて回答します。
委員長	少し気になったのが、回答者の方が、高齢者が多いというところと、例えば20歳代で0.5%ということで、回収数でいくと5人位にしかならないのか、ちょっとその確認をさせていただければと、まあ世帯主さんなのでということもありますが。
事務局	世帯主なので、19歳以下は0%となっていますが。
委員長	もちろんそこは分かっております。
事務局	実際的には中身は書かれていますと思います。
委員長	分かりました。
委員	この回答者の年齢というのはあくまで世帯主の年齢ということか。
委員長	そうです。世帯主の年齢です。ですので、若い人はその世帯の中のお子さん が回答されているという考え方でよろしいでしょうか。
事務局	はい。
事務局	先程の高齢化率の話ですが、市全体で35.3%となっています。
委員長	30%は超えているということですね。分かりました。他にご意見ご質問等ございませぬでしょうか。得票数が25%を超えているものの、標本数が少ない、ただ、回答者数は2,000人近くありますよ、ということで、その中で傾向として先程事務局からお話がありましたように、年齢的な傾向がひとつあるよと、ただ地区別に偏った傾向は特段ないということで、地区全体の意向としてはある程度反映されているだろうということは読み取れるかとは思いますが。あとは年齢の若い方のご意見がどうしても得票が少ないのかなという気はするのですが、その標本の中でもなんとなく新しい使い方がご提案されているように読み取られるのかなと思いますし、高齢の方はやはりみなさんが集うところですか、生活の相談ができるとか、安心して行けるような利便性も含めて求められているのかなというのは読み取れるかと思えます。 アンケートですので、これをひとつの参考として、これからの委員会の中でアンケートのすり合わせを含めて、皆様のお考えとか意見などを今後頂きたいと思えます。ただ、ちょっと私のあくまでも個人的な考えなのですが、もうちょっとご意見が出るのかなと思っていましたので、ご年配の方は興味があるんだろうと思うんですけど、その辺も含めて今後どうしていくかという議論があるのかなと思います。もしご意見がなければ次の議題に進めたいと思えますけど、よろしいでしょうか。はい、では次のワークショップについて、事務局の方から説明をよろしくお願ひいたします。
事務局	(ワークショップについての説明) 資料(塩田庁舎等利活用市民ワークショップの概要、塩田庁舎等利活用市民ワークショップ実施(概略案))を見ながら説明
委員長	ありがとうございました。只今の事務局の説明について、ご質問ご意見等ご

	<p>ございましたら挙手をお願いします。</p>
委員	<p>これは、30人決まったら、3回まで同じメンバーでワークショップが行われるということか。その都度募集をかけるのではなく、決まったメンバーで3回実施するののか。</p>
事務局	<p>はい。基本的にはそうですね。それがベストだと考えています。ただ、どうしても、予定していたんだけど来られないとか、そういうことは当然あることだと思います。必ずということではないです。</p>
委員長	<p>このワークショップには委員の方は参加しないのでしょうか。</p>
事務局	<p>楽しい会にしたいと思っています。中学生も参加しますし、こうやって多世代が一緒の場で話ができる場面というのは中々ないと思いますので、盛り上げて楽しい会にしようと思っています。委員さんの中でも一緒に参加してみたいと思われる方がいらっしゃったら、是非是非参加してもらえたら、という気持ちはあります。よろしくお願いします。30日なのでギリギリ前までなら大丈夫です。</p>
委員長	<p>その場合はワークショップに参加するんですか。それともオブザーバーとして参加するんですか。</p>
事務局	<p>ワークショップに参加していただいたほうが、中身が分かると思います。</p>
委員長	<p>ということは公募に加えて、委員さんは別枠で入りたければ入ってもいいよという考え方でよろしいですか。</p>
事務局	<p>そうですね。そういう人数に合わせて構成をしたいと考えています。</p>
委員	<p>ワークショップが終わったら市民の方に、こういうワークショップがありました、こういう話がありましたとか、そういったお知らせとか、そういうものをされる予定はあるのか。</p>
事務局	<p>それは、フィードバックですね。ホームページとかで。</p>
委員	<p>私は子育て世代だけど、嬉野市のインスタグラムとかを利用して、そういう方が身近だなと思う。わざわざ市のホームページを見るかというのと、見ない人が多いと思うから、インスタとかそういうもので紹介したほうが目につくのかなと思う。今回終わったらまた他にもこういう機会があったりするののか。中々今回、このチラシを見て、行きたいなという気持ちに正直、ちょっと堅苦しいイメージがあるので、中々踏み込めない方も、いろいろ意見はあるのかもしれないけど、行けない方は多いかなと感じていて、また今度もそういうことをしました、というのを情報として入れてあげて、興味あるな、という人が出てきて、別の機会があれば、もう少し別の世代の方も若い方も興味を持って色々な意見を出せるのかなと思うけど。</p>
事務局	<p>今回、参加のお願いに回ったときに、LINE だったらな、ということを言われました。それもちょっと反省点で、そういう意見も届く手立てですべきだったという反省はあります。</p>
委員長	<p>裾野を広げるという考え方だと思いますが、このあたり、ワークショップの専門家といいますか、堤先生、どういうふうに捉えたらよろしいですか。</p>
堤准教授	<p>先ほどお話しがあったようにきっかけですので、1回やって、良かったね、と思ってもらえれば広がっていくと思うんですよね。チラシの作り方とか確かにあると思いますけど、多分どちらかという皆さん、「どうしよう」と思うところがあると思うので、ここで1回しっかりやっていただいて、そしてこの話は多分今年度で終わり、という訳ではおそくないので、来年度以降もですかね、どういう形で続けるかということはワークショップか何かということは</p>

	<p>今後議論していただければ良いかと思うのですが。ワークショップっていろんな考え方があるんですけど、いちばん重要なのは、自治体に対して意見がある方は、ある意味直接言っていただいたらいいと思います。いちばん重要なのは住民の方同士で議論をする場というのは中々おそらくないと思うので、そういった場にしていただけたら、私達もお手伝いさせていただきますので、そういう流れができれば多分、色んなところで、市が別に企画しなくても、まちなかの方でそういう議論が進むような流れができればなと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。先程の質問と関連すると思うんですけども、例えば1回目やって、2回目から参加できますかという問い合わせがあった場合というのは、なにかお考えはお持ちですか。あくまでも想定です。そういうのを開催していることを知らなかった、2回目は参加したいなんて人がもしいれば、それはウェルカムで考えてよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。是非。当初計画したときにはなかったのですが、話を聞く中で、託児コーナーが欲しいという話がありまして、これは今回設置をするようにしましたので、そういった意味でも参加しやすい形にはしたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にご意見ご質問等はございませんでしょうか。それでは次の議題に移りたいと思います。中学生アンケートについて事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(中学生アンケートに付いて説明) 資料(塩田庁舎等利活用中学生アンケート)を見ながら説明</p>
委員長	<p>ありがとうございます。中学生アンケートについて、ご質問ご意見等がございましたら挙手をお願いします。</p>
事務局	<p>すみません、アンケートの実施は7月の中で、この委員会の中でなにかご意見をいただいた上で、中学校の校長先生にあらためてサンプルとして検討いただいて、OKをいただいて7月の中で実施をして、今度のワークショップにも活用しようかなと思っています。</p>
委員長	<p>これは中学校の方にも主旨を説明した上で、アンケートの時は先生におまかせするんですか、それともご説明に行ってアンケートを取る形ですか。</p>
事務局	<p>中学校にワークショップの参加を呼びかけに行った時に、アンケートについても概ねの骨子をお渡しして、これを具体的にしたのがこれだということで、分かるようにしております。</p>
委員長	<p>分かりました、ありがとうございます。よろしいですか。また最後に皆さんにお聞きしますので、それでは次の方に行かせてもらいます。 その他ということで、塩田庁舎の窓口機能について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、塩田庁舎の窓口機能についてということで説明いたします。以前に、この委員会の方で塩田庁舎の利活用スペースの件とは別に、塩田庁舎の行政機能、窓口についてのお尋ねがあったかと思えます。その部分と今回の塩田庁舎等利活用のアンケートの11頁にありますとおり、利活用に関して今までの塩田庁舎の行政機能を残してほしいという意見が多くあります。この分はこれまでの、庁舎のあり方から新庁舎の基本構想・基本計画、この中にも柱としてあげている部分ではございます。これについては、今、完全に決定をして皆さんにお示しするというのではないのですが、新庁舎の方と併せて今検討をしておりますので、今お伝えできる部分について、随時この委員会でもご報告をさせていただきたいということで、今回説明をさせていただきます。詳細については担当の方から、資料も用意しておりますので、それを使いながら説明をさせていただきます。</p>
事務局	<p>それでは、私の方から説明させていただきます。まず、庁舎建設基本計画に</p>

おける窓口の考え方については、新庁舎まで出向かなくても塩田庁舎で行政サービスが受けられるようにネットワークの機能を利用してサービスのシステム構築を行ったり、対面が必要な業務については職員で対応していくという形で考えています。その中で、現段階での窓口機能・窓口サービス、市民課であったり、福祉課であったり、色々なサービスがあります。そのサービスを今後は総合窓口課のような形で、例えば市民課を残します、福祉課を残します、という形ではなく、色々な窓口サービスを集約したような、総合窓口センターのような形で運営ができればと考えています。その他に行政窓口以外にも介護保険の地域包括支援センター、そういったところもありますので、併せて窓口のサービスを行っていきたいと考えています。

どういった窓口サービスがあるのか、ということもあると思いますが、今から具体的にどういった窓口サービスをどういうふう提供するのか、ということを検討するところですが、他市を例に挙げますと、証明書の受付であったり申請書の受付、あとは地域包括支援センターであったり総務課がやっているような業務であったり、そういったところも窓口対応というところでもあります。

今後、これからの窓口というところで、行政サービスにおいてもデジタル化、DX化が進んでいます。これまでは対面で同じ内容を何度も書いたりしていましたが、今後はアナログからデジタルに急激に変更していくということで、近い将来は市役所に行かなくてもオンライン手続きなどで殆どの申請が済んでしまう、そういった流れになっていきます。しかしながら、すぐにここ1年で変わるというものではありませんので、ここ1・2年で「書かない」「待たない」「回らない」ワンストップサービスのようものが始まってくるとお考えいただければと思います。そこで、いま現段階で具体的にそういった形でDX化を検討する内容になりますが、庁舎間をオンラインで繋いでの相談を受ける体制づくりであったりとか、デジタルを活用して書かないような窓口、タブレットとかで対応できる窓口とか、そういったところも含めつつ、ワンストップですべてが済むような形、フロアマネージャーとかインターネット申請の拡充というところで実際に取り組んでいるところもありますし、これから進めていくということもありますので、現時点で塩田庁舎、嬉野庁舎でどういった窓口にするか、ということはこの2・3年、その先の状況をお示しするのは難しい状況にありますが、お示しすることができるような状況で皆さんに説明ができるような形になったときにはご提示をしていきたいと思います。

委員

書かないとか、そういうことで先程窓口の説明がありましたけど、住民票といっても、ただ単なる住民票というわけにはいかないと思う。本籍入り、全部省略、3つのパターンがある。その辺をみんな口頭でお尋ねされた時点での交付となってくるのか。

事務局

実際の運用というところは、確認をしながらやっていかないとはいけませんし、口頭でやるのか、タブレットで、自分でやらしてください、ですなのか、はたまたそれを組み合わせるのか、そういったところのやり方が、利用される方が一番困らないようなやり方を取っていきたいと思いますので、デジタルがどういったところで利用サービスがあるのかということを確認しながら行っていきたいと思います。

委員

それって例えばコンビニ交付があると思うが、窓口に行かずにコンビニで取れる。自分で選ばないといけない、本籍省略とか、間違っ取りました、何回かしたら手数料が倍になりました、という話を聞く。そういうことがあるから、やっぱり窓口に行ったほうがいいよ、と私は言っているけど。

事務局

そうですね。すべての方が来なくなる、ということは恐らくないだろうというところで、来られた時にも今までよりも簡単に、時間を短縮させて、楽になったね、という形になるように、業務を対応するような形でいきたいと思います。

委員長

先程説明していただいたように、コミュニティを窓口にするかどうか含めてということで今後検討してもらったらいいなと思うが、デジタルトランスフォーメーションがなんで省略がDXかよく分からないが、まあそういう事になっているので、それはデジタルを利用して簡略化するとか、スマートにできる

		<p>とかいうことじゃなくて、デジタル化を利用して、まず機構そのものというか、仕組みそのものから変えていくということが、やる基本じゃないかなと思う。だから、時間をかけて今後検討していきたいと言われているが、機構そのものを変えるということは相当、その、スタッフも設備も何でも要ることなので、話しながら少しずつ良いやり方をしていこうというぐらいのことで間に合わないんじゃないかなと、こういうふうにしたいというのがあって、それに向かっていろんな整備をすとか、検討を加えていくということが必要なので、具体的に検討している内容というのがあればいいかなと思うけど、それをするのは本当に、庁舎を建設して、こっち側の方も利活用を考えて、それを一緒にしないといけないのではないかなと思っている。</p>
事務局		<p>お話のとおり同時というか、窓口は窓口として、嬉野庁舎・塩田庁舎ということではなく進めていく形で、それこそですね「窓口DX S a a S」ということで国の方がある程度、「書かない」「待たない」「回らない」窓口になるように自治体の方でやってくださいという事で、これを進めることを国が強く言われていまして、令和6年度から本格的に運用していくことを想定されていますので、こちらとしてもどのシステムが良いのかということを見極めながら「書かない」「待たない」「回らない」窓口というのは進めていきたいと思えますし、その先の、市役所に行かなくてもいいようなオンライン申請、そういったところと合わせながら行っているというところですよ。</p>
事務局		<p>これは塩田庁舎に限らず嬉野庁舎も変革していくというところですので、塩田庁舎だけ変わるということではなく、全体、窓口としてこういったやり方でやっていきたいという事でご理解ください。</p>
委員長		<p>全国的にデジタル化はどこも進んでいますので、必要なことだとは思いますが、その、手数料の問題とかは皆さん気になると思いますけど、そこは例えば2回目まではいいとか、いろいろ考えられるかもしれないと思いますので、皆さん期待してよろしいのかなと思います。だからその、塩田庁舎のあり方というところでの一つのキーポイントになると思いますので、今の中でいくとこういった機能は残っていくんだよということを前提に、じゃあ残りのスペースをどう使っていこうとか、逆にこの機能に付随して何かもうちょっとこういったものがあたらいいとか。そういったことを今後はもっと議論できればと思いますし、多分ワークショップでは、あくまでもスペースについての議論になるんですね。委員の皆さんはそれを含めた形での理想像を色々想像していただいて意見を交わすことになるかとは思いますが。だから現実的に先程おっしゃられたように、倍払うようなことは止めてくれとかですね。そういうこともシステムに考えてくれとか。そういった要望でもいいのかなと思います。本当に生活に直結して、そういうことがあると、こういうことが起きるんじゃないかなとか。そういったことをどんどん意見としてぶつけていただければ、より良いものになるのかなと思います。他にご意見等はございませんでしょうか。</p>
委員		<p>そういう話とは違うけれど、ワークショップはワークショップなのだが。以前塩田の中でワークショップが今のナカシマファームのところであったとき、そのころはまだ塩田工業高校だったのだが。その生徒会のメンバーがその中に入っていた。ものすごく良いアイデアをいっぱい出されたので、嬉野市が生徒会の方に今度のワークショップの参加を要請したら面白い意見を言ってくたさるのではないかなと思う。私も一応、鍋野手漉き和紙のお手伝いをしているので、その件で塩田工業高校の先生の方に体験して色んな意見を言ってもらいたいということでこの間要請してきたばかりなのだが。そういうのに割と生徒会の人達は気さくという言い方はおかしいが、何か手伝うことがあったらおっしゃってくださいと言われたので。生徒会のメンバーが何人いるかわからないが、そのときは3人参加されていたと思う。だから声かけだけでもしていただけたらと面白い意見が聞けるのではないかなと思う。</p>
事務局		<p>まさに、生徒会の方にお話しさせていただいて、3名ご参加いただくことになっております。</p>

委員	来られるのか、ああ良かった。結構いい意見を下さるから。ものすごく良かったと思う。
事務局	生徒会ではないとは思いますが。ちょっとどちらかは分からないのですが。学校からの参加は生徒さんとなります。
委員	良かったです。
委員長	せっかくですから窓口機能以外でも、今日全般でご意見、ご質問、新たに何かお考えがあればこの場でどうぞご意見を。はい、どうぞ。
委員	私は歳とって横文字が苦手、それからそういう機械、パソコンが苦手。私は退職してからパソコンが流行った。退職記念にパソコンを買って今も使っているがちょっとチンプンカンプンで。それに慣れていかなければならないが、今から高齢化社会になると私のような人がいっぱい増えるかなと。しかし 20 何年前パソコンが流行ったからもう今もあなた方は何でも自由にされるだろうけれど、全くやっぱり苦手なんです。それよりも私は、例えば市役所にいったときの、係の人の親切さが本当に大事だと思う。「何ですか、何ですか、はいはいはい。」というよりも、手取り足取りするような、そこまでしてもらわなくてもいいが。また話は別だけど、福岡の高速のサービスエリアで買い物をしたが、そのとき店員さんに商品を渡したらそれを見て、「これはいつまで、いつまで。ちょっと待ってください」と言われ、もっと賞味期限が長いのを持ってきてくれた。本当に親切だなと。普通のお店なら、賞味期限が明日までのを買ったら良かったと思うかもしれないが、わざわざ走って行って同じ物を持って賞味期限これいつまでですよ。それに私はもうびっくりした。そういう人間の優しさとか気遣いとか、そういうのがあると、ああやっぱり嬉野はいいな、塩田はいいなとなっていくのではないかと思うので、私達も勉強しなくてはならないけれど、パソコンも何も、横文字も本当に苦手なのだが。その辺も参考をお願いしたい。
事務局	ありがとうございます。実は他のところにお話を聞かせてもらいに行ったときに、やっぱり地元の人がないといけないと言われました。そこが一番の、窓口がどうのこうのではなく人ですねと。その方は言われ、私達もやはりそうだなと感じましたので、大事にしたいと思います。
委員長	はい、貴重なご意見かと思えます。おっしゃる通りデジタル化っていうのは合理化、効率化ということで、民間の航空機ですとかホテルがコロナ以降自動チェックインという全部機械でできるようになったのですけれど、コンシェルジュという形で絶対に人が一人二人いますので。多分、全くのデジタル化とはならないのかなと思えます。優しさとか人の温もりみたいなのは、当然それまで5人6人いたのが1人になるということはあるかとは思いますが。それと機械の方もご心配されなくても、この2～3年でものすごく変わりますので。AIというもので、最初は皆さまATM困ったと思うんです、携帯も困ったと思います。でも皆さま使っていると思うんです。多分そういう簡単なものになっていくのかなと思えますので、そういうところに期待して、嬉野市の行政の方で色んなものを検討されると思うので。逆を言うと今のような、そういう優しさも残してねとか、よく機械が分からない人にも分かるようにしてねとか、そういうのが多分嬉野市さんのシステムの選択の一つになってくると思えますので、そういう今のような本音の話をどんどんしていただければと思います。ただ本当にもう、2～3年で劇的にもものが変わってきますので、AIなんてとても信じられないものになってきますので。そういうものにもついていく必要はあるのかとは思いますが。他になにかご意見は。全般で構いません。
委員	庁舎の窓口機能の事だが、ここに例題を上げている。これずっと見ると簡単なものから窓口で今でもできるようなものから、ある程度専門的に、深くしないとサービスが受けられないなというものまで、多分これ、入っていると思う。それぞれ例えば色んなサービス、母子家庭にしても障害者とか何とか、そういうものにしても、人の内容によって違ってくると思う、サービスのあり方というのが。だから私は、一つの庁舎になるのが良かったと思うのは、結局塩

田に来て、また嬉野も行ってと。課によって分かれていたので同じ日に、塩田にいても嬉野も行かなくてはいけないと。例えば区長とかになっていたときに、色々な課が分かれていたので、そういう形で両方行ったりしていたが、そういうのがなくなるのが一番だと思う。あっちもいかなければ、こっちもいかなければ、それがなくなるのが一番。窓口が一つになると当然嬉野が中心になるので、塩田の方がなくなると。それはやっぱり避けないといかんと思うが、全部が全部というか、窓口は残しますよということより、先程から出ているが、ある程度簡単なもの、そういうふうのできるものはそれでいいが、個別に深く関係して調整しなければならぬようなサービスといたら、そういう部分の窓口業務というのは、例えば嬉野に行ってもそっちの方で1回で済めば私はそっちの方がサービスは良いと思う。ある程度はここにあるけれど、そういうことも含めて今後検討していただければいいのかと思う。

委員長

事務局お願いします。

事務局

ご意見として今後のサービスのあり方について検討します。

委員

中学生の利活用のアンケートの件だが、学校に負担をかけたらあまりいけないかなと思うが、ただ書いてくださいだけでは。もう分からないままこれでもいいだろう、という回答にしかならないかな。せめて5番くらいは友達と話すとか時間が取れたらもう一つ深みが出るかなと。将来塩田を背負っていく人間だから、皆に考えて欲しいという先生の一言がまたこれを大きく変える原動力になるかなと思うが。はい、してくださいというだけだったら、どこまで深まるかなと感じてしまった。だから、これを全部じゃなくてもいいから、ちょっとでも。10分もかからないで5分くらいでも書く人もいます。ただの形にしかこれだったらならないかなと思うので、少し時間が10分でも取れたら。5番だけでもいいから、友達と話し合う時間が取れたらお願いしたいと。負担をかけられないけれど深みのある部分というところを、せめて1項目でも良いのでお願いされたらちょっと違うのではないかなと思う。

委員長

はい。

委員

今年度は難しいと思うけど、小学校の高学年とか中学校の総合の時間というのがあると思う。そういうので自分達が住んでいる塩田について考える時間というのを取っていったら、もっと深く塩田庁舎の利活用について小学生とか中学生の意見というのが深まったものが出てくるのではないかと考えたので、今年度とか来年度とか近々には難しいかもしれないが、学校と市役所とが連携しながら今後は担っていく世代の意見をもっと自分達のこととして考えられるような時間を、学校と連携しながら考えていってもらったら、より色々な意見が出て楽しい場所になっていくのではと思う。

委員長

なるほど。事務局、今のお二人の話を聞いて、何かご回答と言いますか、ご意向と言いますか。今言われたことは非常に重要な気がしますし、例えば育成会とか子供会というのは存在するんですかね。そういったものは今ないのですかね。

事務局

あります。

委員長

あるんですね。よく夏休み前に近所のこども達が地区対抗のソフトボール大会とか昔はやってたとか、そういったことは今はやられてないでしょうか。

委員

ありません。

委員長

ないんですね。

委員

塩田小学校のこども達は町並みに関しては大変勉強してくださって、秋の発表は4、5、6年生くらいか、1、2、3年生はあまりそこまで深くはされませんが、発表されるのは5年生、6年生はしっかり調べてくれる。コミュニティから出られるので。しっかり勉強を何回もされている。塩田小学校はそうです

	ね。
委員長	なるほど。そういった情報っていうのは行ってますか。
事務局	今の中学生は、小学校でそういう取り組みを経て上がってきた子ですね。ホームページで見たのは見たのですが、4、5年生、多分4年生くらいじゃないでしょうか。
委員長	おっしゃった通り、学校にはあまり負担はかけられないとは思いますが、文章で伝えるとか、もしくは絵柄で伝えるとか。もしくは校長先生等に一言ご進言いただいて。
事務局	これを持っていったときに先生とは直接話をしてみます。
委員長	何かもう一つ付け加えて「君達の為だよ」みたいな感じで。ちょっとした工夫で宜しいかと思しますので、委員様の意見をちょっと反映した形でやっていただければと思います。
委員	以前、吉田小中学校で5年生以上の子が、木を見立ててこの地域に何があったら良いかというのをこども達の目線で、木を大きな木にしていくという発想の中で、決まった形の中でしかないのだが、たくさんアイデアとか何とか、大人の視点と違って考えられるものがいっぱいあるんですよね。だから、持っていく方だろうとは思いますが、ただお願いされる分についてはプラスになっていくと思う。今後の塩田のこととして。だから一歩そういうことを考えていただけたらいいと思う。
委員長	そうですね、夢を持ってもらうことも大事ですし、それを叶えてあげる大人も必要でしょうから、そのキャッチボールができるような会話になれば非常にいいですね。まあ理想ですけど、すみません、理想しか言いませんので。はい、どうぞ。
委員	学校は本当に忙しいらしい。職員も、教員になり手が無いし。本当に大変なようです。そして色んなところから夏休みを利用して、例えばポスターとか何とか、色んなものがいっぱい来て、これも来るとなると本当に大変だと思う。これもお願いの仕方なんですね。お願いする人が「お願いします」と言うだけじゃ、殆どその担任の先生もそんなお願いがされていないから書いて、ということではダメ。だからお願いの仕方と、それから教育長さんがここにおられるから、教育長さんが一部コピーしてその辺を充分話をされたらいいと思う。ただ、ポッと渡しただけではいけないと思う。充分説明をして、今後の問題があるからとか。そういうお願いをされたらどうだろうか。
委員	すみません。付け加えて、塩田町内4校の学校、小学校6年生は町並みを見学してこちらの体験をするというのを長く続けている。中学校3年生も、もう1回町並みを見て、というのをしている。だから時間の無い中、先生方にはすごく時間を取っていただいているので、関心というか、その辺はあらわれると思う。
委員長	分かりました。今のご意見を聞いて今日のテーマ、アンケートに関しても優しさ・丁寧さで、さっきのデジタルも優しさ・丁寧さなので、人間味ということがテーマみたいですね、活動としては。なので、アンケートの取り方を一工夫していただいて、できれば中学生の持っている意見とかポテンシャルが引き出せるような対応をお願いしたいと思います。それはもう、事務局の方の、それほど難しいことではないと思いますので、よろしく願いいたします。他に今日の件で、今日終わりますと、ワークショップが終わるまで、あとで日程の話があると思いますので、今の内に前回3回分を含めて何かこう、ワークショップの前に話しておきたいことがあれば、もしよろしければ言っていただければ。
委員	この庁舎の中で、塩田庁舎及び周辺公共施設と書いてあるこの建物（中央公

	<p>民館) だが、この建物は大丈夫なのか。今後使うことになれば、アンケートの中にいれて大丈夫だろうか。3年後どうなるのかなと。社会福祉協議会の事務所の中に入っているので、地震が来たらどうかと。</p>
事務局	<p>非常にそこは、利活用のこの委員会を立ち上げる私達がやろうとし始めたときから、私達もどうするのか、というのはありました。すぐに取り壊すというような前提で利活用を検討するということは今現在やっていません。ちょっと老朽化が進んでいますし、アンケートの中にもありましたように色々な改修をすべきだといったところもありますし、実際使われる頻度の問題もありますので、その辺も含めてご意見をもらいながら、今例えばここを作り直しますよとかそういう部分は言えませんが、色々な意見をもらいながら、集約できる部分、できない部分、そこを見極めていきたいということで、その後は最終的に市民の皆さんと委員会の話を聞いて、市長が判断して色々な提案をさせていただくことになると思います。今現在ここを、耐震の部分もありますので長いことこのまま使っていきますよというのは言えないですけど、ここを全部塩田庁舎に移すということを考えているわけでもないです。ちょっとあやふやな回答にはなりますけれど。</p>
委員	<p>ちょっと耐震が心配ということですよ。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>塩田庁舎で今 27 年くらいではないか。多分あと 25 年くらいは 50 年使えるとすれば、できると思うけど。もし、ここは厳しくなったらそこら辺を想定した上での取り組みであった方がいいかなと思う。</p>
委員	<p>ここは昭和 53 年に建っている。</p>
委員	<p>庁舎は平成 5 年だったか。</p>
委員	<p>平成 5 年。ここは昭和 53 年。耐震でアウトなんですよね、ここ。ここでこの計画の中に入れていいものなのかと。トイレももう、水漏れとか。</p>
委員	<p>本体の部分についてまず、これの利活用の問題が。まだちょっと庁舎自身を作るにはまだもつからいいと思っている部分で発言をしてきた訳なので。</p>
委員長	<p>昭和 53 年なので、旧耐震設計ですね。56 年以前なので。</p>
委員	<p>診断でアウト。</p>
委員長	<p>診断もしているのですね。 53 年。俗に言う旧耐震での設計ですので。診断はされてるんですよ。</p>
事務局	<p>診断はしています。</p>
委員長	<p>IS 値はどれくらい出ていましたか。</p>
事務局	<p>診断はしていますが、実際は老人福祉センターの上、公民館の上の屋根が少し重いということです。</p>
委員長	<p>ここは 3 階建てでしたっけ。</p>
委員	<p>2 階、ここまで。階下が 1 階とかであれば。</p>
委員長	<p>0.6 とか 0.7 という数字がどれくらいあるかとかは分かりますか。いえ結構です、すみません。多分 0.6 あれば地震がきても倒壊はしない。でもちょっとヒビが入ってガッとなってしまうという世界。分かりました。2 階建てならまだいいのですが、3 階建てはちょっとやっぱり怖いと言え怖い。はい、大丈夫です。でもその辺も加えて議論するということですので、そういったことも今</p>

	事務局	<p>後色々懸念としてどんどん意見を言っていただくことは大事な事かなと思います。他にご意見はございませんか。はい、ではその他の次回の案内ということで、事務局の方お願いいたします。</p> <p>はい。次回の委員会の日時は、先程ワークショップの説明にありましたように、7月～9月にかけて3回ワークショップを予定しておりますので、その結果を纏めた上で10月下旬に予定したいと思っております。詳しい日時、場所等については後日お知らせを事前にしてから開催したいと思っておりますので、本日のところは詳細な日程をお知らせできませんが、よろしくお願いたします。</p>
	委員長	<p>はい。日程についてよろしいですか。ご質問等ございませんでしょうか。その他に事務局の方からご連絡は特にないでしょうか。</p> <p>全ての議事について終了いたしましたので、以上をもちまして、第4回嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会を閉会いたします。出席していただいた皆様、本当にありがとうございました。</p>